

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立栗橋北彩高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	「規律・活力のある学校」を目指して、うまく両者のバランスを取りながら両立させて取り組んでいる。学校に寄せられる期待やニーズ、学校・生徒の現状が適切に把握され、課題の解決に向けた方向が明確で、分かりやすいものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。やや網羅的な目標となっているので、中期的な視点に立ち、課題の解決に向けて更に重点化した内容とすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	教職員間の信頼関係のもと、学校が進むべき方向性の共通理解が図られている。評価項目や方策が重点目標を実現するものとなるように、より重点化して具体性のあるものにしていただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	現状に基づき、「朝の立哨指導・校内巡回指導などを教職員全員で取り組む」、「『北彩通信』を地域に回覧する」等、評価項目の達成に向けた具体的な方策が策定されている。分掌・年次等のシートは作成されているが、学校全体の目標と連鎖させて、課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が教職員に学校の課題等を分かりやすく伝え、教職員が一丸となって取り組む雰囲気醸成している。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を図りながら組織的・計画的に教育活動に取り組んでいる。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。生徒・保護者を対象としたアンケートとともに、地域住民からのアンケートも実施しているので、そのアンケート結果を丁寧に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			